

VI. 參考資料



策定の経過

地域福祉計画の検討体制

地域住民の参加を得ながら地域保健福祉計画（平成 18 年 3 月策定）の見直しを行うため、地域保健福祉計画策定委員会（以下、策定委員会）を設置し検討を重ねてきました。同策定委員会で地域福祉計画素案を作成し、社会福祉審議会への諮問を行いました。

また、検討過程においては、策定委員会でまとめた地域福祉計画素案に関する地域説明会及び意見公募手続き（パブリックコメント）を行い、より広く市民の意見を収集しました。

地域保健福祉計画策定委員会

学識経験者、保健医療団体及び機関の関係者、個別計画策定委員会の代表者のほか、公募市民など 12 名の委員で構成された同策定委員会において、全 7 回の検討を行い、地域福祉計画素案をとりまとめました。

地域福祉計画策定委員会委員一覧

	役 職 名	委 員 名
1	学識経験者	西尾 敦史
2	保健医療団体・機関代表	飯塚 典男
3	社会福祉事業に従事する者	深澤 義教
4	社会福祉事業に従事する者	上田 博久
5	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会	三國 誠文
6	障害福祉計画策定委員会	春日 恵美子
7	次世代育成支援対策地域協議会	岸田 浩子
8	民生委員・児童委員	柴田 由夫
9	市民公募	奥平 ます美
10	市民公募	恩智 敏子
11	市民公募	小林 剛
12	市民公募	遠西 将好

平成 22 年 3 月末現在（敬称略、順不同）

開催日と検討内容

	開催日	主な検討内容
1	平成20年10月14日	(1) 地域保健福祉計画策定委員会について (2) 講演：地域保健福祉計画に求められるもの 講師：西尾敦史 委員（沖縄大学准教授） (3) 地域保健福祉のイメージや地域保健福祉への期待について (4) 今後のスケジュール (5) 市民意識調査の実施について
2	12月15日	(1) 個別計画の動き（報告） (2) 市民調査の実施について（報告） (3) 具体的な取り組み発表：障がい者支援の取り組み (4) 地域における課題と期待 ー地域福祉という視点からー (5) 今後のスケジュールについて
3	平成21年 2月 3日	(1) 第2回地域保健福祉計画策定委員会の振り返り 地域における課題と期待 ー地域福祉という視点からー (2) 具体的な取り組み発表：子育て支援の現状と課題、今後め ざすべき取り組みについて (3) 市民調査の実施について（報告） (4) 地域における課題と期待 (5) 今後のスケジュールについて
4	4月20日	(1) 具体的な取り組み発表：地域包括支援センターから見える こと (2) 地域保健福祉計画の要素について (3) 地域保健福祉計画の目指す地域福祉の姿について (4) 今後のスケジュールについて
5	5月25日	(1) 地域福祉計画素案（たたき台）の検討 (2) 今後のスケジュールについて
6	7月27日	(1) 地域福祉計画素案（たたき台）の検討 (2) 今後のスケジュールについて
7	10月26日	(1) 地域説明会及び意見公募手続き 意見まとめ（報告） (2) 地域福祉計画素案について (3) 今後のスケジュールについて



地域説明会及び意見公募手続き(パブリックコメント)

策定委員会で検討を行った地域福祉計画素案について、より広く市民の意見を収集するため、地域説明会と意見公募手続き(パブリックコメント)を行いました。

◆地域福祉計画素案に関する地域説明会の周知

- ・会議等への参加及び説明：民生委員児童委員協議会役員会、地区社会福祉協議会会長会、地区社会福祉協議会リーダーセミナー、自治連(三役会、理事会)
- ・自治会回覧板(7月15日号の広報やまととあわせて)
- ・広報やまと(8月1日号)

◆地域福祉計画素案に関する地域説明会の概要

- ・期 間：平成21年9月1日～9月13日
- ・会 場：11地区会場
下和田コミセン／桜丘コミセン／下福田コミセン／柳橋コミセン／下鶴間コミセン／南林間コミセン／鶴間コミセン／深見中コミセン／上草柳コミセン／緑野コミセン／下草柳コミセン
- ・参加者：116名

◆意見公募手続き(パブリックコメント)の概要

- ・期 間：平成21年9月1日～9月30日
- ・募集方法：持参、郵送、ファクシミリ、電子メール
- ・意見の提出状況：意見者数 1人 / 意見件数 10件



社会福祉審議会

策定委員会でとりまとめた「地域福祉計画素案」について、市の諮問を受け、全 3 回の審議を行い、諮問案に対して進行管理における市民参加の強化等を盛り込んだ答申がされました。

大和市社会福祉審議会委員一覧

	役 職 名	委 員 名
1	市議会議員	平山 喜代美
2	市議会議員	村上 寛光
3	福祉事業従事者	天野 龍平
4	福祉事業従事者	関水 貴浩
5	福祉事業従事者	高橋 政勝
6	福祉事業従事者	樽谷 弘臣
7	関係行政機関職員	牧野 ゆり子
8	関係行政機関職員	秋田 長二郎
9	学識経験者	桐原 由美
10	学識経験者	中村 勝
11	学識経験者	向井 治文
12	市長が必要と認めた者	越後屋 比佐子
13	市長が必要と認めた者	豊田 宗裕

平成 22 年 3 月末日現在（敬称略、順不同）

開催日と検討内容

	開 催 日	主な検討内容
1	平成 21 年 11 月 9 日	(1) 大和市地域福祉計画素案について (2) 今後のスケジュールについて
2	12 月 25 日	(1) 大和市地域福祉計画素案について (2) 今後のスケジュールについて
3	平成 22 年 2 月 1 日	(1) 大和市地域福祉計画素案について（答申）（案）について

地域保健福祉計画素案について(諮問、答申)

平成21年 11月 9日

大和市社会福祉審議会 会長 殿

大和市長 大木 哲

大和市地域福祉計画素案について(諮問)

このことについて、大和市地域保健福祉計画を改定するにあたり、別添「地域福祉計画素案」について、貴審議会の意見を求めます。

平成 22 年 2 月 10 日

大和市長 大木 哲 様

大和市社会福祉審議会
会長 天野 龍平

大和市地域福祉計画について(答申)

平成 21 年 11 月 9 日付をもって諮問を受けました「大和市地域福祉計画素案」について、地域保健福祉計画策定委員会でまとめた素案を、本審議会で慎重に審議した結果、別添のとおり答申します。

なお、計画の推進にあたっては、より一層の地域福祉の推進が図られるよう、次の意見を添えますので、その趣旨を尊重し、計画の実施に努めてください。

【附帯意見】

1. 計画の推進にあたっては、市民の理解と協力を得ながら進めてください。特に重点的に取り組むテーマについては、計画期間内の工程表を作成し、進めてください。
2. 進行管理については、実質的な市民参加を得た中で検討が行われ、その過程が見える形で進めてください。
3. 市民の主体的、継続的な地域福祉活動を支援するために、関係機関と一体となって、計画を推進してください。

以上

「今後の地域保健福祉のあり方に関する市民調査」



調査結果概要

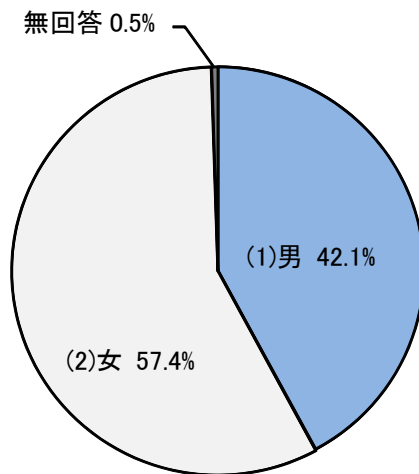
地域福祉計画の策定にあたり、市民調査を行いました。

＝ 調査概要 ＝

- ・実施方法 郵送による発送、回収（無記名方式）
- ・対象者 20歳以上の市民 3,000名を住民基本台帳から無作為抽出
（外国人市民 90名を含む（外国人市民数は人口の約3%））
- ・期間 平成20年11月13日～11月27日（2週間）
- ・回収数 1,149通（38.3%）

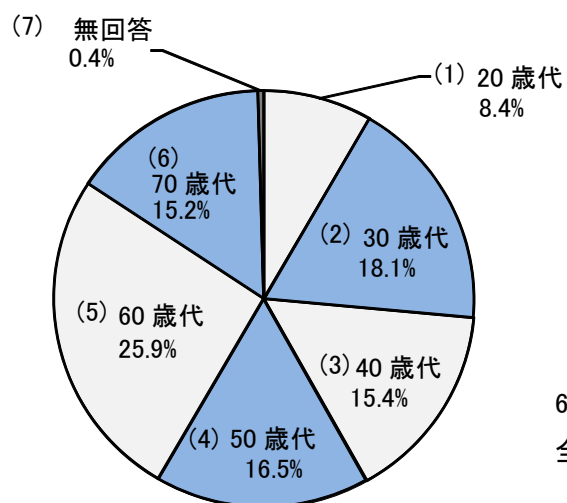
＝ 調査結果概要 ＝

●あなたの性別を教えてください。



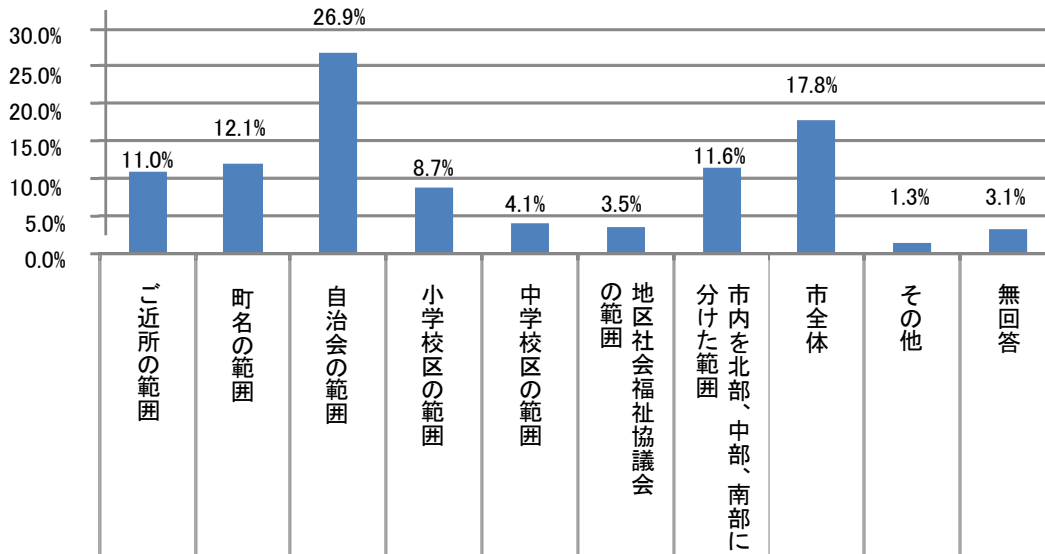
女性(57.4%)が男性(42.1%)を上回っています

●あなたの年齢を教えてください。



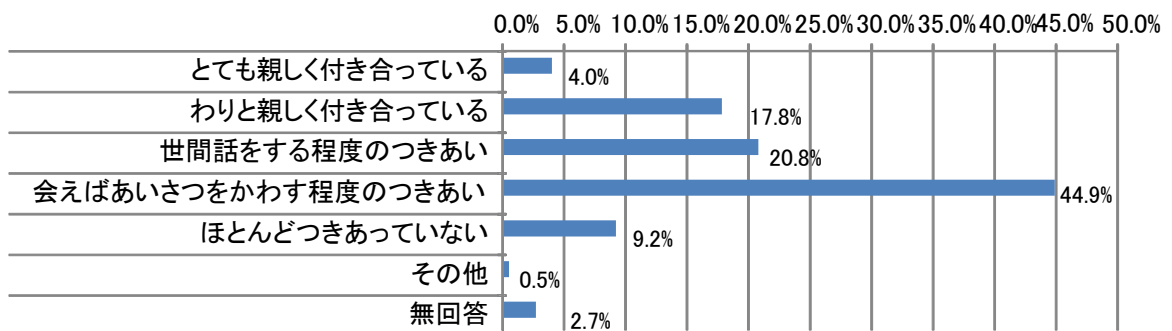
60歳代(25.9%)と70歳以上(15.2%)を合わせると全体の約41%を占めています

●あなたの考える「地域」の範囲を教えてください。



地域のイメージとしては、「自治会」と回答した方が四分の一以上を占めています
次いで、「市全体」と回答した割合が 17.8%と多くなっています

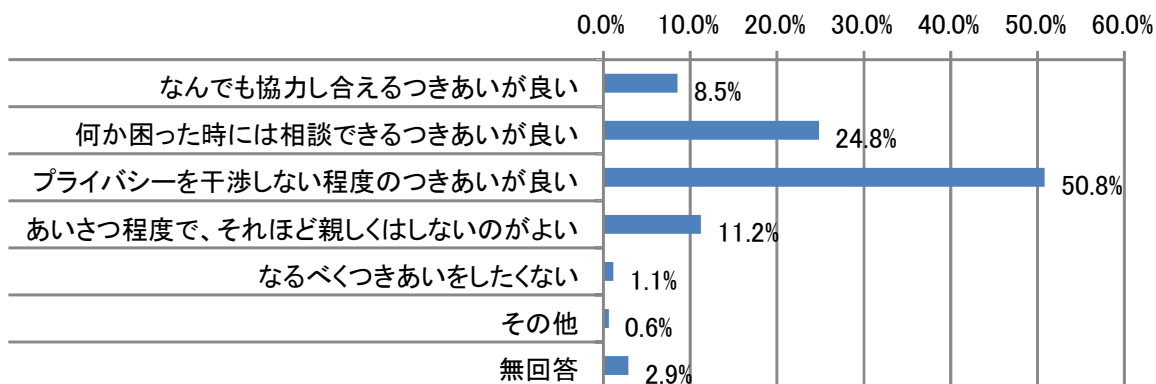
●普段ご近所の人と、どの程度のつきあいをしていますか。



普段ご近所の人とは、「あいさつをかわす程度のつきあいをしている」と回答した割合が、
44.9%と最も多くなっています

「とても親しく付き合っている」と回答した割合は、4%となっています

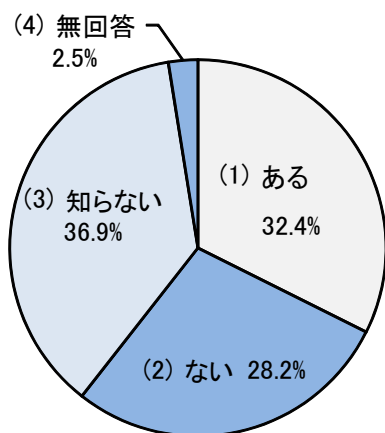
●ご近所づきあいについて、あなたのお考えに最も近いものを教えてください。



「プライバシーを干渉しない程度のつきあいが良い」と考えている人が約半数を占めています
 「なんでも協力し合えるつきあいが良い」と回答した割合は、8.5%となっています

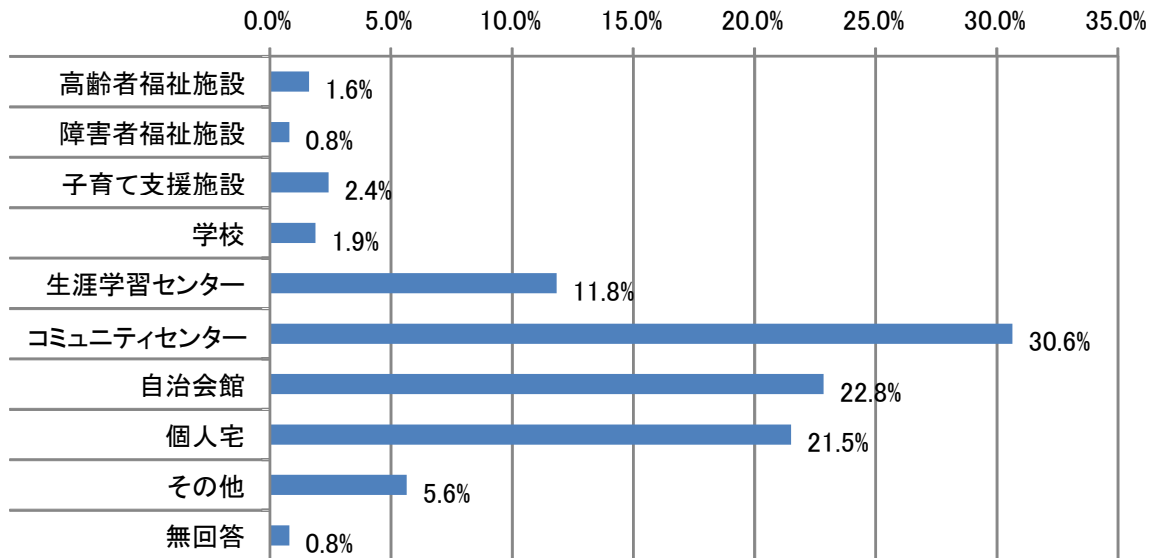
●あなたのご近所には、気軽に立ち寄れる、又は集える場所（※）がありますか。

※お友だち同士がお茶を飲んでおしゃべりができるような自由な時間を過ごせる場所。
 地域住民が主催するサロンのような場のほか、自宅を開放したサロンも含まれます。



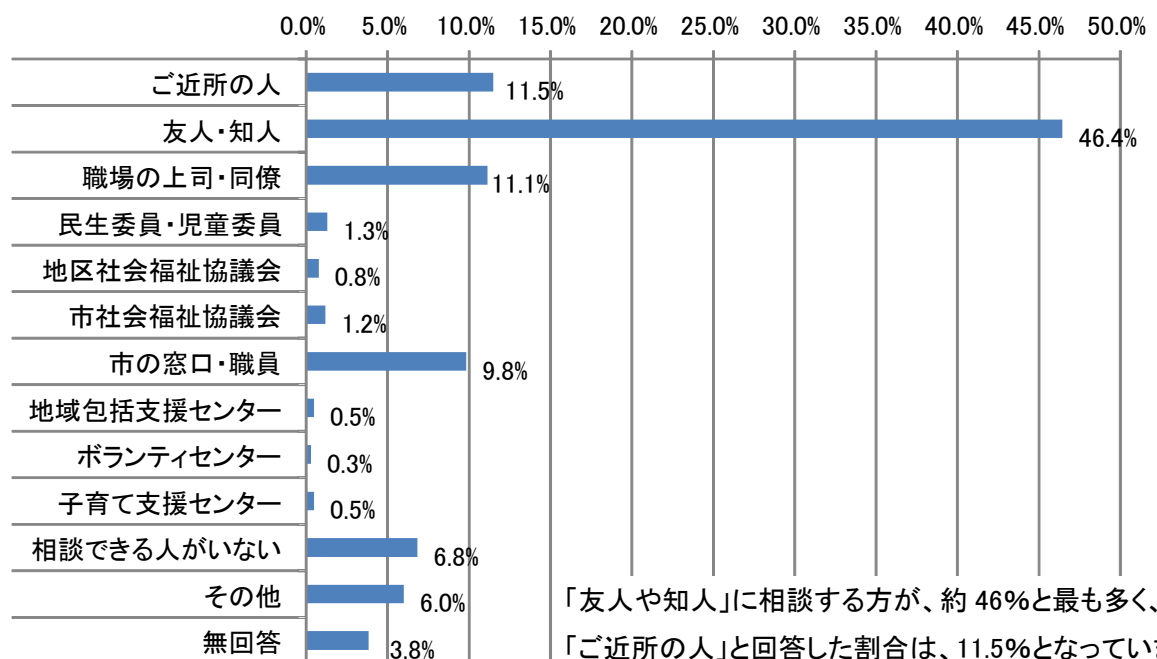
「知らない」と回答した割合が若干多いものの、
 「ある」と答えた方も32%を超えています

●「ある」とお答えいただいた方にお聞きします。それは、どのような場所で開かれていますか。



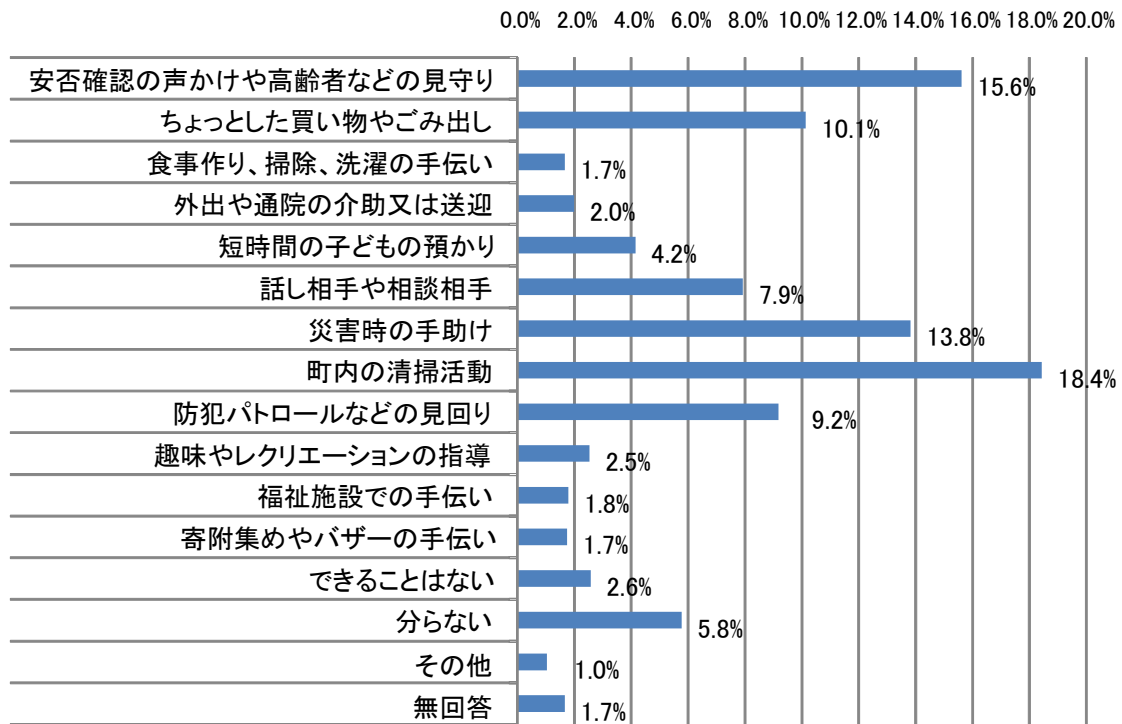
回答割合が多いのは、コミュニティセンター30.6%、自治会館 22.8%、次いで、個人宅が 21.5%となっています

●あなたは、生活上の困りごとを家族の他、誰に相談しますか。(〇は3つまで)



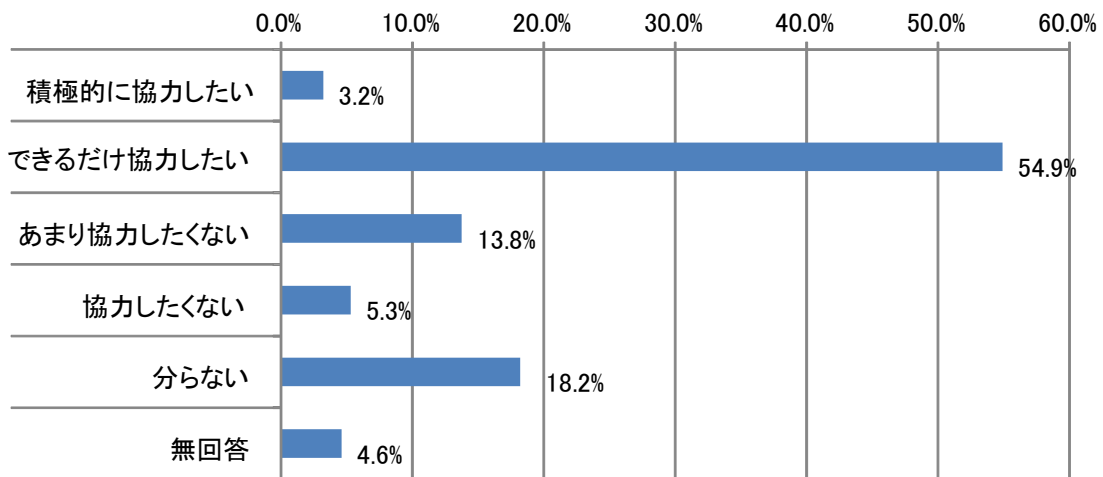
「友人や知人」に相談する方が、約 46%と最も多く、「ご近所の人」と回答した割合は、11.5%となっています

●あなたが地域での助け合いとして、普段できそうなことを教えてください。(〇は3つまで)



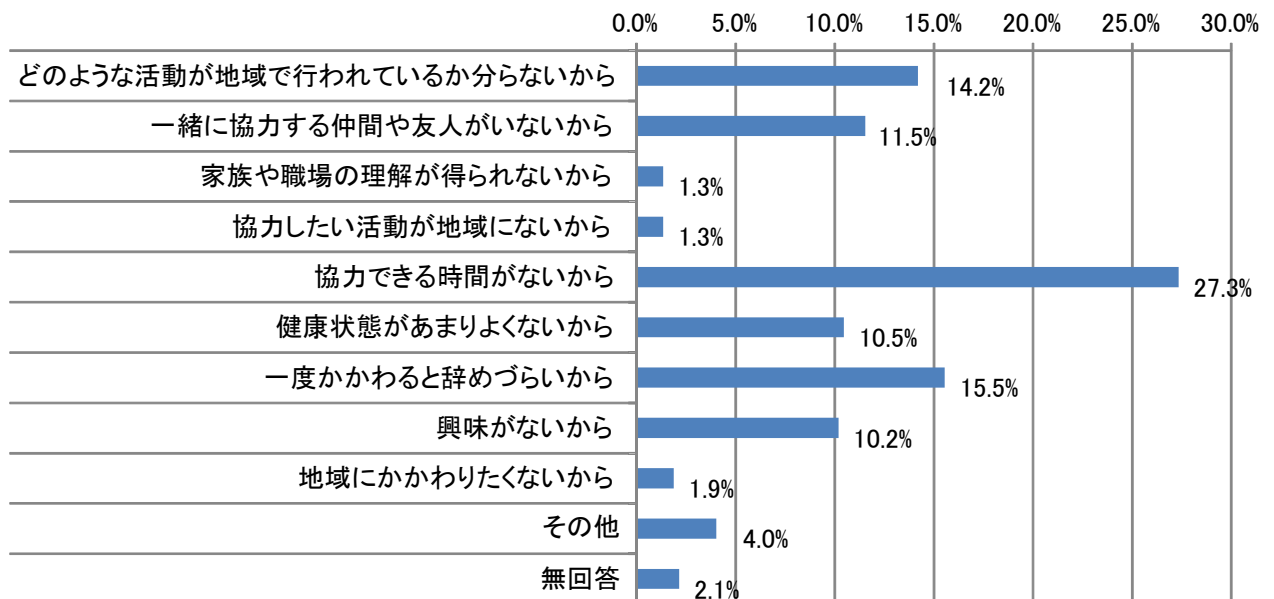
「町内の清掃活動」や「安否確認の声かけや高齢者などの見守り」、「災害時の手助け」の順に割合が多い結果となっています

●地域の方などから、ボランティアの協力を求められたら協力しますか。



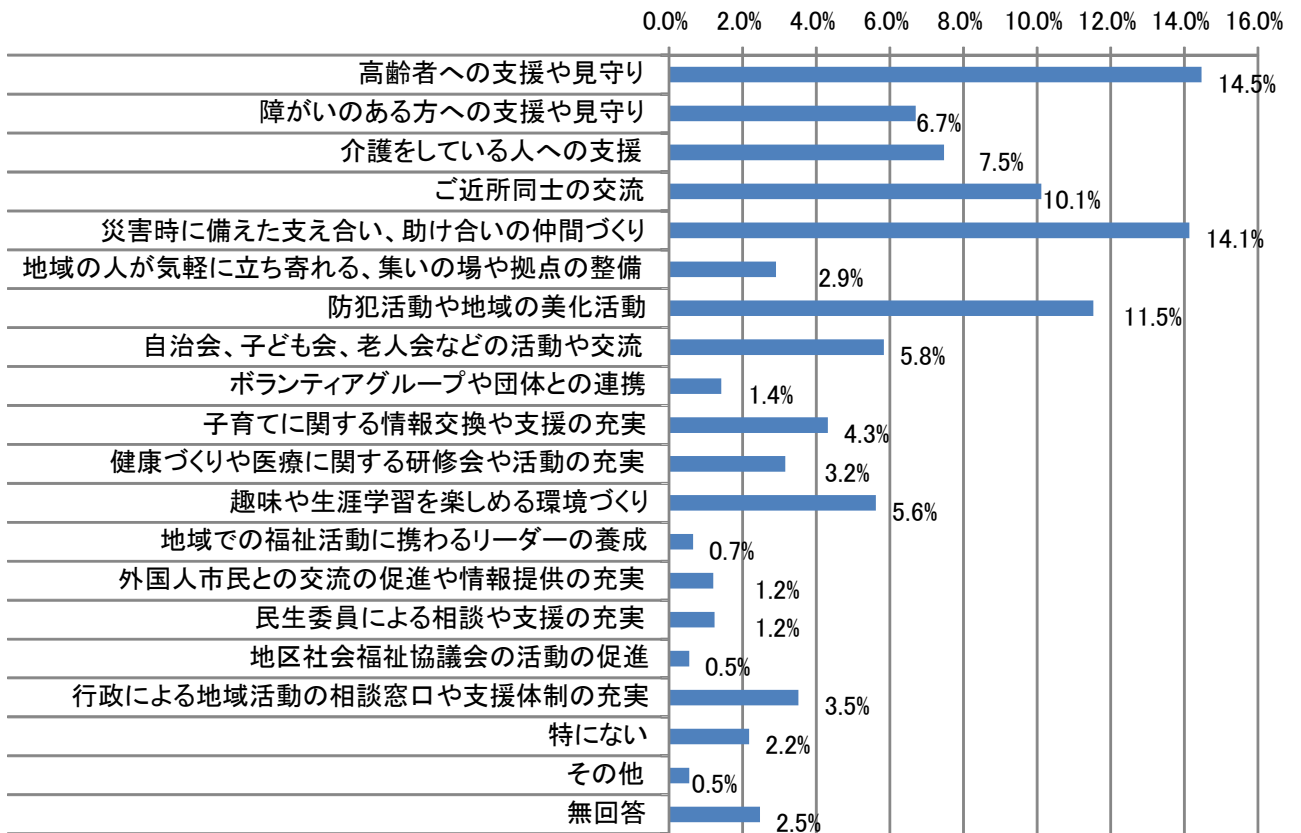
「できるだけ協力したい」と思っている方が、約 55%と最も多くなっています
 「あまり協力したくない」と回答した割合は、13.8%でした

●3 または 4 とお答えいただいた方にお聞きます。「(あまり) 協力したくない」と思われる理由を教えてください。(〇は3つまで)



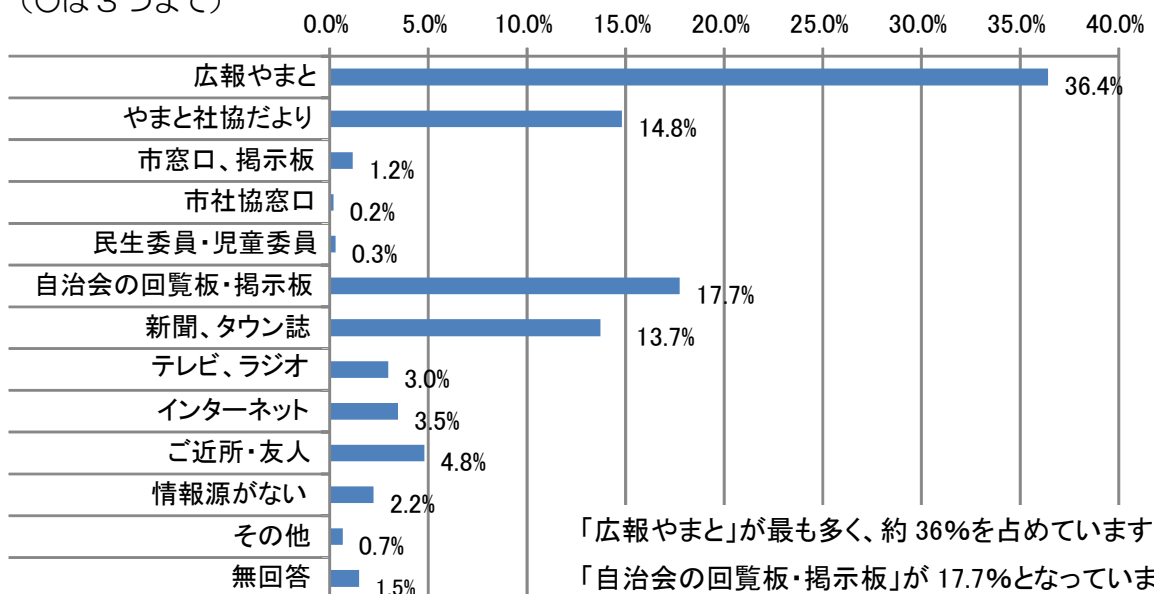
「協力できる時間がないから」と答えた人が、27.3%と最も多くなっています
 次いで、「一度かかると辞めづらいから」が、15.5%となっています

- ご近所や地域での取り組みとして、必要と思うことや期待することを教えてください。
(〇は3つまで)



「高齢者への支援や見守り」、「災害時に備えた支えあい」の割合が多くなっています
「防犯活動や地域の美化活動」は 11.5%、「ご近所同士の交流」が 10.1%となっています

- 普段、福祉サービスや地域活動についての情報を、どのようなところから得ていますか。
(〇は3つまで)



「広報やまと」が最も多く、約 36%を占めています
「自治会の回覧板・掲示板」が 17.7%となっています

大きく育て「つながりの樹」

多くの人の知恵、工夫、アイデア、情熱、情報、お金、場所、気持ちや思いなどが集まり、「つながりの樹」は大きく成長していきます。

つながりの樹は、すぐには大きくなるには限りません。1年経っても、2年経っても花が咲かないこともあるかもしれません。

でも、市民、ボランティア、NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員、地区社協、民間企業、行政など、さまざまな人や団体とのかかわり合いの中で、少しずつはぐくまれた「つながりの樹」は、きっと「笑顔」と「ありがとう」の実をつけ、「私」たちに小さな幸せをくれるに違いありません。

仕事、学校、子育て、趣味、習い事、サークル活動、部活動と毎日が忙しく過ぎていきますが、日々の生活の中で、少しでも地域を見つめる時間と話し合う場所をつくってみてください。

「つながりの樹」は、地域という大地に根づくため、その根を張っています。そのために懸命に努力を続けている人たちがいます。

「つながりの樹」が育ち、また新たな樹の芽が芽吹く。次第に、みどり(つながり)豊かな地域がつくられ、大木になり、森になるように。

こうした豊かな地域をつくるには、一人ひとりの「私」の願いと力が必要です。

大きく育て「つながりの樹」



地域福祉計画：平成22年4月

【問合せ先】

大和市 健康福祉部 健康福祉総務課 地域福祉担当

住 所：〒242-8601 大和市下鶴間一丁目1番1号

電 話：046-260-5604 / FAX：046-262-0999